

令和3年4月の果樹凍霜害に関する支援について

1 凍霜害の気象経過・被害の状況について

- 令和3年3月の気温が高く推移し、果樹の生育が早まっていたところ、4月に入って早朝の気温が大きく降下（最低-5℃）する日が続き、各地で果樹に被害が発生した。（下写真）
- なし、かき、りんごなどに幅広く被害が見られたが（下表）、園地の地形による差が大きかった。



2 被害状況・被害額について

(1) 市町村別

市町村名	作物名	被害面積 (ha)	被害額 (千円)
白石市	りんご	3.6	3,063
	かき	4.0	2,714
角田市	なし	11.1	51,985
	りんご	2.5	6,746
	うめ	0.7	646
	もも	0.01	22
蔵王町	なし	57.3	337,896
	りんご	9.1	24,610
	うめ	5.4	4,984
	いちじく	4.8	2,706
	もも	1.8	4,133
	かき	1.1	431

(2) 作物別

市町村名	作物名	被害面積 (ha)	被害額 (千円)
大河原町	りんご	0.3	674
	うめ	0.2	428
村田町	りんご	0.5	911
丸森町	かき	8.7	3,502
	りんご	0.8	2,105
	もも	0.9	2,021
計		112.81	449,577

※七ヶ宿町,柴田町,川崎町は被害なし

作物名	被害面積 (ha)	被害額 (千円)
なし	68.4	389,881
りんご	16.8	38,109
かき	13.8	6,647
もも	2.71	6,176
うめ	6.3	6,058
いちじく	4.8	2,706
計	112.81	449,577

3 凍霜害に関する支援について

(1) 技術対策による支援

- 被害調査・現地指導：市町や農業共済組合と協力し、被災状況の把握に努めるとともに、戸別巡回により、被害を受けた果樹園の新梢管理や病虫害防除による収量確保を支援した。
- 技術情報の発行・配布：「果樹情報」全12回（果樹全般6回、柿情報6回）を発行し、凍霜害の被害状況と今後の対策の技術情報を、管内全ての果樹農家に配布した。
- 令和3年10月25日に蔵王町で「凍霜害等農業気象災害に関するセミナー」を開催し、凍霜害資材の使用や防霜ファンの導入を働きかけたところ、81人が参集して熱心に研修を受けた。

(2) 資金・事業等による支援

- 園芸特産重点強化整備事業（市町村振興総合補助金）より、なし園地（1戸）への防霜ファンの機器導入に対して助成が行われ、令和4年春から稼働する予定。
- 本県では、果樹凍霜害緊急支援事業として予算措置し、市町村が凍霜害を受けた農業者を対象に肥料・農薬費の一部を助成した。本事業では管内2市2町で延べ180人の果樹生産者が助成を受け、総事業費29,741千円となった。
- 災害による収入減少を補填するための農業保険制度である果樹共済、収入保険への加入について、果樹園主らに情報提供を行い、加入を検討する人が増えている。